

Make: Ogaki Meeting 2012

岐阜高専は、8月25日(土)、26日(日)の両日にソフトピアジャパン(岐阜県大垣市)で開催された「Make: Ogaki Meeting 2012」において、岐阜高専のものづくりデザインの教育・研究紹介を行った。

環境都市工学科廣瀬康之准教授は、地震ハザードや被災リスクをわかりやすく伝えるために「地域防災向上のための振動実験教材」を用いて、振動台の入力波形と構造物の振動モードなどを可視化し学生とともに説明を行った。電気情報工学科田島孝治助教は、岐阜高専におけるiPadを利用した情報教育として、パズル形式のアプリケーションを製作し、遊びながら情報技術の基礎を学習するプレゼンを行った。

本イベントは、Make:はモノづくりを行っている個人、教育機関、企業のMaker(作り手)の発表と交流の場で、第1回(2010年開催)に引き続き、2年ぶりに開催されたが、岐阜高専のブースは、多くの来場者で賑わい、活発な意見交換が行われた。



出展の様子